戦国時代⑤~豊臣秀吉の諸政策と天下統一後~教科書P. 160~165

本日の目的:秀吉の諸政策の特徴と、キリスト教禁圧の背景について理解する

○豊臣政権の政治組織…未	確立
•1:秀吉(の腹心の部下、実務(行政・財政・司法)を分担させた
→浅野長政・2	・増田長盛・前田玄以・長束正家
· ₃ :有力:	大名で構成。重要政務を合議させる。五奉行の顧問。
	・毛利輝元・宇喜多秀家・小早川隆景(死後、上杉景勝)
○豊臣政権の経済基盤	
• ₅ …直	轄領
→約6	全国の約1割、うち約7割は畿内・近国に集中)
・重要都市の直轄〈例〉 ₇	
・豪商を利用: 堺:8	·小西隆佐、津田宗及
	・神谷宗湛ら
➡博多の復	興の命を受ける。また,朝鮮出兵時の物資を担当
・主要鉱山の直轄:金山…	0 銀山…11
• 貨幣鋳造:12	を京都の金工13に鋳造させる
➡額面は10両で,贈答用に	こ使用されたとみられる。※流通貨幣ではなかった
➡賞与のために 天正通宝 (金・銀)や 文禄通宝 (銀・銅)も造らせた
・その他楽市令、関所撤	廃(七口の関)、一里塚
○豊臣政権の土地・税制度	
• 14 (1582~	-98年):検地奉行を派遣し,統一基準・全国規模で実施
➡山崎の戦い直後, 山城よ	り開始➡秀吉が亡くなる1598年まで継続された。
(a) 単位統一【面積】 ₁₅	※1歩は6尺3寸(約191cm)四方
16	(約 1 ha)
容積 17	に統一 ₁₈
	19
(b) 貫高制から20	へ …"天正の石直し"の別称 村単位で集計(村高)
➡石盛(1段当り標準	望収穫高)× 面積=石高(公定収穫高)
➡石盛の等級:上田[1石5斗]・中田[1石3斗]・下田[1石1斗]・下々田[9斗]
➡納税21	(収穫の3分の2)・22が原則
	の原則…作人(=直接耕作者=年貢負担者)の確定
	権益関係の精算➡荘園制の消滅

○身分	分制度確立の基礎
24	<u>(1588):農民から武器を没収</u> (農村の武装解除➡一揆の防止)
→ 25	の促進 ※方広寺大仏造立を口実
	(1591):身分異動を禁じる
<u></u>	
→他国	目・他郷者の在住禁止・人口調査➡朝鮮出兵の準備
○豊臣	E政権 キリスト教の禁圧 ←九州平定(1587)
【キリ	「スト教禁圧の背景】
_	リシタン大名が所領を教会に寄進
	: 28: 28をイエズス会へ寄付
_	ルトガル人による日本人の奴隷売買
③ 信	者の団結への危惧(一向宗徒を彷彿させる)➡信者の増加、神社・仏閣の破壊
	3・家臣のキリスト教入信許可制
	(1587):宣教師の国外追放
➡南翟	受貿易継続のため民衆の信仰は禁止せず(政策の不徹底)
○豊臣	三 三 政権 朝鮮侵略
	詳侵略 ☆名護屋(肥前国松浦)に本陣
→対馬	馬₃₀氏を通じ、朝鮮に服属と明への先導を要求(1587)➡朝鮮は拒否
• 31	の役(1592~96)("壬申倭乱")…15万の大軍派遣
	『漢城(現ソウル)陥落など当初は日本軍優位
	洋義兵のゲリラ活動、朝鮮水軍(32、33)の活躍、明の援軍
)使節来日「汝(秀吉)を封じて日本国王となす(中国の属国の意)」→決裂
	の役(1597~98)("丁酉倭乱")…14万の大軍を再派遣
	線膠着➡秀吉の死により中止、停戦。 ほ(身長) …
公中总	₹(鼻塚) …首のかわりに持ち帰った耳・鼻を埋葬
影墾	①豊臣政権の弱体化、明の衰退、朝鮮の疲弊 ※多数の朝鮮の文化財の破壊
ツン 目	②諸大名・領内支配の強化 …軍役動員を通じて家臣を在地から切断
	③朝鮮文化の輸入(略奪)〈例〉 ₃₅ の種子、 ₃₆ ・
<本	日のまとめ>
• 秀吉	〒の諸政策は織田信長が進めていた諸政策を補完するものであった。
• 秀吉	言は兵農分離、税制度の確立、度量衡の統一を進め、その結果、後の江戸幕府

- の基盤を形成した。
- ・キリスト教に対する政策は、禁教策に近いものではあったが、南蛮貿易の継続を 望んでいた点で、不徹底なものであった。
- ・朝鮮出兵により豊臣政権は短命化。その一方で朝鮮半島から多くの文物が伝来。